



Shiga General Hospital

滋賀県立総合病院

笑顔で患者に寄り添い
チームで取り組む姿勢を基本とし
子どもから大人まで安心・信頼・満足の得られる
高度かつ専門的な医療の実現



総長・病院長
足立 壯一

メッセージ

私どもの使命は、地域の医療機関や患者さんからのニーズに応え、診療科の垣根を超えた多職種連携による最適な医療を持続的に提供すること、そして感染症対策や救急医療、災害対応、子育て支援など、県や国の政策とも連動し、県立病院としての中核的な役割を担うことだと考えています。

2025年1月、滋賀県立総合病院と小児保健医療センターの統合が行われ、1つの病院になりました。これまで小児保健医療センターでは、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科で滋賀県のみならず、近畿一円の難治・慢性疾患の子どもたちの治療を行ってきました。統合により、小児難治・慢性疾患の子どもたちが大人になっても、今までの主治医とともに、主に成人患者を治療しているすべての診療科の医師との強い連携が可能になります。全国の小児病院の患者及びご家族にとっての課題である移行期医療の取り組みが滋賀県で進むこととなります。小児保健医療センターから行ってきた重症心身障害児医療や小児難治性疾患への医療を継続しつつ、滋賀県の医療全体にさらに貢献できるよう、職員一同一丸になって邁進してまいります。

沿革

総合病院

- 1970(S45)年
 - 12月 「滋賀県立成人病センター」開設
業務開始(集団検診・施設検診・検診ベッド30床)
- 1976(S51)年
 - 5月 入院診療開始
第一病棟開設(51床)
- 1988(S63)年
 - 4月 病院名称を「滋賀県立総合医療センター」に改称
- 1992(H4)年
 - 4月 病院名称を「滋賀県立成人病センター」に改称
- 1999(H11)年
 - 4月 「成人病センター研究所」開設
- 2001(H13)年
 - 2月 救急告示病院の指定を受ける
- 2002(H14)年
 - 4月 臨床研修病院の指定を受ける
 - 8月 地域がん診療拠点病院の指定を受ける
- 2009(H21)年
 - 2月 都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受ける
- 2018(H30)年
 - 1月 病院名称を「滋賀県立総合病院」に改称(535床)
- 2019(H31)年
 - 4月 がんゲノム医療連携病院の指定を受ける
- 2021(R3)年
 - 4月 湖南圏域の二次救急医療機関として
病院群輪番制に参画

小児保健医療センター

- 1957(S32)年
 - 「滋賀整肢園」開設
- 1980(S55)年
 - 病院名称を「滋賀県立小児整形外科センター」に改称
- 1988(S63)年
 - 4月 病院名称を「滋賀県立小児保健医療センター」に改称
入院業務開始(60床)
- 1989(H1)年
 - 5月 基準看護、基準給食及び基準寝具設備承認(100床)
- 2005(H17)年
 - 4月 滋賀県立心身障害児総合療育センターを療育部として統合
- 2018(H30)年
 - 3月 滋賀県アレルギー疾患医療拠点病院の指定を受ける
- 2021(R3)年
 - 1月 一般社団法人日本小児総合医療施設協議会の会員施設に認定
- 2023(R5)年
 - 11月 PHCU開設

2025(R7)年

1月 総合病院・小児保健医療センター 県立総合病院として **統合**

がん医療

都道府県がん診療拠点病院として、高度で質の高いがん医療を提供するとともに、患者さんがよりよいがん医療を受けられる体制をつくるために「がん登録」のデータを収集・整備しています。
また、がんゲノム医療連携病院としてがん遺伝子パネル検査を実施しています。



遺伝子診療センター

各診療科や部門と連携し、がんゲノム外来(がん遺伝子パネル検査)や専門医師・認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを行っています。



外来化学療法センター

がん化学療法看護認定看護師が患者さんやご家族に寄り添い、安心して化学療法を受けていただける環境を整えています。



放射線治療センター

新棟が2024年に竣工し、同年10月に稼働を開始しました。最新の医療機器を複数導入し、より高精度で患者さんの負担が少ない治療を行っています。



がん相談支援センター

専従のがん専門相談員が、がん患者さんやご家族、地域の方々から「がん」に関する様々な相談をお受けします。がん情報コーナーでは診療ガイドラインや冊子、アピランス(外見)ケア情報の提供も行っています。



緩和ケアセンター

診断時から外来・入院を問わず「切れ目のない緩和ケア」を提供しています。多職種が協働する緩和ケアチームが、診療科や地域の医療機関と連携して療養生活をサポートしています。



各種取り組み

院内外の医療従事者を対象にがん診療セミナーを開催し、最新の治療技術や知識を提供しています。また、がんの予防や検診、治療法など正しい情報を届けるために、がん教室や県民向けがん診療セミナーなどを開催しています。

高度医療機器



血管撮影装置 Alphenix Biplane

ハイブリッド手術室に設置しており、大型の撮影パネル(FPD)や、起倒機能付カテーテル寝台を搭載し、外科処置を伴う手技も可能です。

ロボット手術装置 ダ・ヴィンチXi

鮮明な三次元画像、手振れ防止機能、術者の手のように自由に動かせる多関節アームが特徴です。繊細な手術操作が可能で、患者さんの負担が少ない手術を行えます。



放射線治療計画CT SOMATOM go.Sim

治療計画専用CT装置で、診断用よりも内径が大きく、治療時と同じ体位で撮影が可能です。iMAR(金属アーチファクト低減技術)を搭載しています。



RI検査装置 GCA-9300R

汎用型の2検出器型ガンマカメラより放射線の検出効率が高く、優れた画質を提供することが出来ます。特に頭部領域や心臓領域で強い力を発揮します。

半導体PET/CT装置 DiscoveryMI-25

滋賀県初の半導体PET/CT装置は、検査時の被ばくを低減しつつ、分解能の高い優れた画像を提供出来ます。FDG-PET検査以外にもアミロイドPET検査などの紹介検査も実施しています。



密封小線源治療装置 フレキシトロンHDR

子宮頸がんの腔内照射を行うために必要不可欠な装置です。より緻密な治療である組織内併用腔内照射が行えるアプリケーションも導入しています。



X線放射線治療装置 True Beam

定位放射線治療や強度変調放射線治療など高精度な照射も可能なX線照射装置です。体表面やCTでの位置確認ができ、短時間で正確に照射ができます。



こども医療・保健・療育

小児を対象とした総合的医療や地域保健、福祉サービスを提供する役割を担っています。

前身となる小児保健医療センターと総合病院が令和7年1月1日に統合しましたが、これまで小児専門病院として行ってきた治療はしっかりと継続してまいります。

医療部門

診療科

- 小児総合内科
- 小児神経内科
- 小児免疫アレルギー科
- 小児内分泌代謝糖尿病科
- 小児心臓内科
- 小児腎臓内科
- 小児遺伝診療科
- 小児こころの診療科
- 小児整形外科
- 小児外科



- 小児眼科
- 小児耳鼻いんこう科
- 小児リハビリテーション科
- 小児泌尿器科
- 小児形成外科
- 小児脳神経外科
- 小児発達診療科
- 小児麻酔科

主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、安心・信頼・満足の得られる医療・ケアの包括的なサービス提供を実施しています。



病棟



- 病棟はそら病棟(54床)とにじ病棟(40床)とPHCU病棟(6床)で構成されています。
- 各病棟には、中央にスタッフステーションを置き、その周囲に病棟を配置しています。

手術室



- 熟練した専門医と技術スタッフの連携により、安全で確実な手術を実施しています。
- 手術室の壁面は直筆の壁画で覆われ、子どもたちをメルヘンの世界へいざないます。

小児保健指導室

滋賀県内の母子保健の中核的支援拠点として各種の事業を実施しています。

- 研修・教育事業
- 調査・研究・広報
- 精密健康診査
- 専門職の派遣



療育センター(児童発達支援センター)



平成17年4月より、障害を有する就学までの子どもを対象とした児童福祉法に基づく通園施設を統合し、総合療育事業を行っています。子どもたちの障害特性にあわせたグループ保育、専門スタッフによる個別リハビリや相談支援、ご家族対象の研修等を行い、子どもたちが地域で家族と共に豊かな生活が送れるよう支援しています。

- 通園事業(グループ療育と個別指導)
- わいわい教室(ダウン症乳幼児とその家族対象の集団療育)
- 外来(通園児、卒園児への診察・リハビリテーション)
- 巡回療育相談・療育研修事業(療育に携わる関係者対象)

臨床研究センター

PETイメージング部門

PET(陽電子放射断層撮像)は、陽電子(positron)という特殊な放射線を出す放射性物質を含むさまざまな薬剤を用いて体の中の薬の分布を画像化する方法です。PETイメージング部門では、PETの薬剤を合成する設備と、高性能の半導体PET/CT装置を備えており、現在我が国で保険適用となっているFDG-PET、アミロイドPET、脳O-ガスPETを行うほか、腫瘍・認知症・脳血管障害などの評価を行う新たな製剤や評価法の開発、既存薬剤を用いた幅広い臨床研究を行って世界に発信しています。

ゲノム疫学研究部門

ゲノム疫学研究部門は滋賀県民の健康改善に貢献するために、滋賀県の健康医療データを元に、健康課題の分析、保健事業と連携した介入の実装を行い、住民の健康行動、医療の質の改善によって、健康アウトカム改善、医療費適正化を目指しています。ゲノム疫学研究で得られた疾病(精神神経疾患、難聴)の病因遺伝子と病態との関連の解明にも取り組んでいます。



教育研修センター

適切な医療福祉を届けるために、優れた医療人を継続して育成することを目指して、種々の教育・研修の企画、運営などを行っています。

- Zoomを活用した多職種向けの研修会の主催、共催を行っています。
- YouTubeアーカイブや動画マニュアルtebikiなどで教育・研修情報を提供しています。
- 職員の資格・研修歴などを把握し、病院としてキャリアアップを進める態勢を目指しています。
- 教育研修センターのミーティングルーム、図書室、実習室、シミュレーター室は24時間365日使用可能です。

救急搬送受け入れ

救急科が初期診療を行ってから各専門医につなぐ体制を整え、様々な疾病領域において他院に搬送することなく専門的医療を提供します。



各種医療相談窓口

患者サポートラウンジ内に、入退院支援・在宅療養支援・医療福祉相談・がん相談など各種相談に対応する窓口を設けています。

地域医療機関・介護福祉事業所等と連携し、患者さんやご家族が安心して療養生活が送れるように、専門の相談員がサポートを行っています。



施設概要

病床数

病床数: **635床** 一般病棟589床(うち無菌室8床) / 特定集中治療室(ICU)4床 / HCU16床 / PHCU6床 / 緩和ケア病棟20床

診療科(33診療科)

- | | | | |
|------------|---------|----------|-------------|
| ●血液内科 | ●総合内科 | ●産婦人科 | ●リハビリテーション科 |
| ●腫瘍内科 | ●腎臓内科 | ●眼科 | ●歯科口腔外科 |
| ●糖尿病・内分泌内科 | ●外科 | ●耳鼻いんこう科 | ●病理診断科 |
| ●老年内科 | ●乳腺外科 | ●皮膚科 | ●精神科 |
| ●免疫内科 | ●整形外科 | ●形成外科 | ●救急科 |
| ●脳神経内科 | ●脳神経外科 | ●麻酔科 | ●小児科 |
| ●循環器内科 | ●呼吸器外科 | ●放射線診断科 | |
| ●消化器内科 | ●心臓血管外科 | ●放射線治療科 | |
| ●呼吸器内科 | ●泌尿器科 | ●緩和ケア科 | |

主な施設認定等

- 救急告示病院
- 臨床研修指定病院
- 全国がん(成人病)センター協議会加盟病院
- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構
病院機能評価(3rdG:Ver.2.0) 認定病院
- 滋賀県肝疾患専門医療機関
- 滋賀県エイズ診療拠点病院
- 滋賀県重症難病患者医療拠点病院
- 滋賀県重症難病患者医療協力病院
- 地域医療支援病院
- がんゲノム医療連携病院
- 滋賀県アレルギー疾患医療拠点病院
- 滋賀県予防接種センター

アクセス

〒524-8524
滋賀県守山市守山五丁目4番30号

- JR琵琶湖線
守山駅からバスで約**10分**
- JR湖西線
堅田駅からバスで約**40分**
- 名神高速道路
栗東I.Cから約**15分**



滋賀県立総合病院

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号

TEL: (077) 582-5031(代) ナビダイヤル: (0570) 00-5031

FAX: (077) 582-5931(代) URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>

